

## 2款 1項12目 市民活動支援費

### コミュニティ推進事業

(協働自治推進課)

決算事項別明細書 103 ページ

予算現額	74,637,000 円		決算額	71,463,903 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	3,173,097 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			72,691,167 円	地 方 債	
	増減額			△1,227,264 円	そ の 他	
	増減率	△1.69%	一 般 財 源	71,463,903 円		

#### <目的>

高齢化の進行や防災・防犯への関心の高まり等を背景に、コミュニティの必要性が認識され、コミュニティ活動としては、自治会を中心に、地域の独自性を活かした各種活動が展開されています。今後も市民の主体的な活動を支援し、一層の促進を図ることを目的とします。

#### <内容>

コミュニティ活動の活性化を図るため、自治会などのコミュニティ組織を育成し、その活動を支援します。

#### <実績・成果等>

##### 1 自治協力員等の委嘱

狭山市自治協力員設置規程に基づき、市行政の円滑な運営を図ることを目的に、自治協力員として121人を委嘱し、自治協力員代理者として344人に協力いただきました。

##### 2 自治会への助成

狭山市自治会補助金交付要綱に基づき、自治会活動を育成し、住民自治の発展を図ることを目的に、各自治会へ世帯数を算出根拠として補助金を交付しました。

##### 3 自治会連合会への助成

狭山市自治会連合会補助金交付要綱に基づき、市、自治会連合会及び地区自治会連合会の円滑な運営並びに明朗な社会の形成の促進を図ることを目的に、自治会連合会に対して補助金を交付しました。

## 2 款 1 項 1 2 目 市民活動支援費

### コミュニティ施設特別整備事業

(協働自治推進課)

決算事項別明細書 105 ページ

予算現額	20,000,000 円		決算額	18,224,000 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,776,000 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	3,750,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			10,301,000 円	地 方 債	
	増減額			7,923,000 円	そ の 他	2,500,000 円
	増減率		76.91%	一 般 財 源	11,974,000 円	

#### <目的>

高齢化や防災、防犯への意識の高まり等を背景に地域でのつながりの重要性が認識される中、コミュニティ活動の場である自治会集会所等について整備を進めています。しかしながら、未整備の自治会や老朽化が進んだ施設も多く、今後も集会所の整備に対して支援していくことを目的とします。

#### <内容>

自治会集会所の建設・増改築・改修など、地域住民が自ら行うコミュニティ関連施設の整備に対して補助金を交付します。

#### <実績・成果等>

- 1 狭山市コミュニティ施設特別整備事業実施要綱及び同補助金交付要綱に基づき、各地区団体の自治会集会所増改築・改修等に要する経費の一部について補助金を交付しました。

事業区分	件数	補助金額
集 会 所 建 設	1件	7,500,000 円
集 会 所 改 修	9	4,015,000
集 会 所 借 上 げ	31	3,653,000
掲 示 板 設 置	1	50,000
冷 暖 房 設 置	1	181,000
収 納 庫 設 置	2	325,000
合 計	45	15,724,000

- 2 一般財団法人自治総合センターコミュニティ助成金(2,500,000円)により、入曽地区自治会連合会の備品を整備しました。

## 2 款 1 項 1 2 目 市民活動支援費

### 協働推進事業

(協働自治推進課)

決算事項別明細書 105 ページ

予算現額	4,764,000 円		決算額	482,920 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	4,281,080 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,199,694 円	地 方 債	
	増減額			△1,716,774 円	そ の 他	
	増減率	△78.05%	一 般 財 源	482,920 円		

#### <目的>

市民と行政との協働を推進するとともに、協働の担い手の育成と担い手同士の連携を図ります。

#### <内容>

- 1 協働事業提案制度を推進し、協働によるまちづくりを推進します。また、協働の担い手の育成とコーディネート支援を充実します。
- 2 今後のまちづくりに向けて、多様な市民が連携、協力して地域の課題解決に取り組むために、地域で活動する市民団体にアンケート調査を実施します。

#### <実績・成果等>

- 1 協働事業提案制度を推進  
市民参画と協働によるまちづくりの推進を図るため、提案型協働事業 3 件（市民提案型協働事業 2 件、行政提案型協働事業 1 件）を実施しました。

#### 市民提案型協働事業（全 2 件）

事業名	実施団体
トワイライトスティ事業	いりそ支え合いたっち
道にお絵かき!大っきなところに描いてみよう♪ ～コロナなんかには負けないぞ!～	Sayama Second Stage

#### 行政提案型協働事業（全 1 件）

事業名	実施団体
狭山市版 食のセーフティネットの仕組みづくり事業	フードバンクさやま

- 2 市民活動団体を対象にアンケート調査を実施  
今後の協働によるまちづくりに向けた環境づくりのため、市内で活動する市民活動団体を対象にアンケート調査を実施しました。配布団体 97 団体、回答団体 61 団体、回収率 63 パーセント  
(結果)  
安定した事業収入を得て活発に活動している団体がある一方で、事業収入に苦慮している団体も多く、資金確保や事業計画に関する支援が必要なことが分かりました。

## 2 款 1 項 1 2 目 市民活動支援費

### 市民大学事業

(協働自治推進課)

決算事項別明細書 105 ページ

予算現額	24,092,000 円		決算額	10,781,823 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	13,310,177 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			26,821,276 円	地 方 債	
	増減額			△16,039,453 円	そ の 他	
	増減率		△59.80%	一 般 財 源	10,781,823 円	

#### <目的>

元気な狭山を支える人づくりと人を活かす仕組みづくりを目指し、まちづくりを担う人材の育成、学びの成果を地域社会のなかで活かす仕組みづくり、学びを通しての生きがいづくりと仲間づくりを目的とした市民大学の運営を行います。

#### <内容>

まちづくりを担う人材の育成と学びの成果を地域社会のなかで活かす仕組みづくりを推進します。

#### <実績・成果等>

まちづくりコース 4 講座、健康・福祉コース 2 講座、生きがいコース 4 講座の合計 10 講座（定員総数 225 人）の実施を予定し、募集期間の途中までに 150 人の応募がありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、本年度の開講は中止しました。

with コロナに対応したオンライン講座の導入に向けて、Zoom 研修会等を下記のとおり実施しました。

9 月 17 日	西武文理大学影山優子教授による研修会	27 人が参加
10 月～11 月	小平陽一氏による試行講座 4 回	延べ 123 人が参加
	横山千枝子氏による試行講座 1 回	17 人が参加
11 月～12 月	講座スタッフを対象としたホスト体験会 5 回	延べ 48 人が参加
※2 月～3 月	一般を対象とした無料体験教室を 6 回予定し、33 人の申し込みがありましたが、緊急事態宣言発出に伴う狭山元気プラザの休館により、中止しました。	

## 2 款 1 項 1 3 目 地区センター費

### 地区まちづくり推進事業

(地区センター)

決算事項別明細書 107 ページ

予算現額	2,770,000 円		決算額	987,725 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,782,275 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,955,654 円	地 方 債	
	増減額			△1,967,929 円	そ の 他	
	増減率	△66.58%	一 般 財 源	987,725 円		

#### <目的>

地域住民主導によるまちづくり事業を地区センターが支援することにより、まちづくり活動の活性化を図ります。

#### <内容>

元気で活力ある地域社会の実現を図るため、地域住民が主体的に取り組むまちづくり事業に助成金を交付します。

#### <実績・成果等>

狭山市まちづくり事業助成金交付要綱に基づき、地域の特徴を生かしてまちづくりを推進する事業に要する経費について、助成金を交付しました。

本年度の助成金交付実績は、総事業件数は 8 件で、総助成金額は 987,725 円でした。

#### まちづくり事業助成金交付状況

地区名	事業件数	助成金額
入間川地区	2 件	211,468 円
堀兼地区	3	400,000
奥富地区	1	56,257
柏原地区	1	200,000
水富地区	1	120,000
合 計	8	987,725

## 2 款 1 項 1 4 目 地域交流センター費

### 地域交流センター管理事業

(地域交流センター)

決算事項別明細書 107 ページ

予算現額	19,507,000 円		決算額	14,217,771 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	5,289,229 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債		
	増減額	14,217,771 円		そ の 他	1,625,020 円	
	増減率	皆増		一 般 財 源	12,592,751 円	

#### <目的>

市民の主体的なまちづくり活動及び学習活動を支援するとともに、市民相互の交流や連携の促進を図ります。

#### <内容>

公民館がこれまでになってきた機能を継承するなかで、文化、スポーツ、健康、福祉、まちづくり等の様々な活動の場としての利用に供します。

#### <実績・成果等>

施設の利用状況

施設区分	一般団体※1		個人等※2		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
コミュニティルーム1	549	4,070	42	149	591	4,219
コミュニティルーム2	390	2,679	91	230	481	2,909
和 室	159	1,306	5	15	164	1,321
大 ホール	703	13,140	21	237	724	13,377
小 ホール A	576	8,079	78	256	654	8,335
小 ホール B	444	6,855	16	87	460	6,942
キッチンスタジオ	66	652	8	40	74	692
音楽スタジオ	92	248	185	285	277	533
ア ト リ エ	262	1,427	7	49	269	1,476
合 計	3,241	38,456	453	1,348	3,694	39,804

※1 一般団体とは、原則として会則を有する構成員5人以上の団体を指します

※2 個人等には、その他の団体(4人以下の団体)を含みます

## 2 款 1 項 1 4 目 地域交流センター費

### 地域交流センター講座運営事業

(地域交流センター)

決算事項別明細書 109 ページ

予算現額	529,000 円		決算額	267,681 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	261,319 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			267,681 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	267,681 円	

#### <目的>

市民交流の促進、地域づくり、文化的教養の向上、生活の安定・向上を目指すなどを目的とし、幼児から高齢者までの多世代が参加し、交流や相互連携を図れる、豊かな地域づくり活動を推進します。

#### <内容>

地域住民が、幅広い活動による交流の中で自発的に地域課題に向き合い、住みよい街づくりに協働して取り組めるように支援します。

#### <実績・成果等>

事業の開催状況

事 業 名	回数	延べ参加者数
こ ども 食 堂	5 <sup>回</sup>	650 <sup>人</sup>
ハンドメイド講座	4	18
多肉植物寄せ植え講座	1	14
読 み 聞 かせ 会	2	10
合 計	12	692

## 2 款 1 項 1 4 目 地域交流センター費

### 地区まちづくり推進事業

(地域交流センター)

決算事項別明細書 109 ページ

予算現額	600,000 円		決算額	400,000 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	200,000 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			400,000 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	400,000 円	

#### <目的>

地域住民主導によるまちづくり事業を地域交流センターが支援することにより、まちづくり活動の活性化を図ります。

#### <内容>

元気で活力ある地域社会の実現を図るため、地域住民が主体的に取り組むまちづくり事業に助成金を交付します。

#### <実績・成果等>

狭山市まちづくり事業助成金交付要綱に基づき、地域の特徴を生かしてまちづくりを推進する事業に要する経費について、助成金を交付しました。

本年度の助成金交付実績は、事業件数は2件で、総助成金額は400,000円でした。

助成団体名	事業名	助成金額
狭山楽史会水野調査班	水野の歴史その2 「水野村の成立」	200,000 円
にこにこクラブ	にこにこ食堂 (こども食堂)	200,000 円

## 2 款 1 項 1 5 目 男女共同参画社会推進費

### 男女共同参画推進事業

(市民文化課)

決算事項別明細書 109 ページ

予算現額	2,915,000 円		決算額	1,977,555 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	937,445 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,199,811 円	地 方 債	
	増減額			777,744 円	そ の 他	
	増減率		64.82%	一 般 財 源	1,977,555 円	

#### <目的>

男性も女性も個性を發揮し、社会の対等な構成員としていきいきとした生活を営むことができる男女共同参画社会の実現のため、必要な環境づくりに取り組みます。

#### <内容>

男女共同参画への意識啓発を図るため、各種講座を開催するほか、男女共同参画に関する情報を市民に発信します。

#### <実績・成果等>

男女共同参画情報紙「ひこうせん第25号」を作成し、全戸配布しました。また、男女共同参画講座（女性のための就職支援セミナー）や、市職員を対象とした研修を実施しました。

#### 講座・セミナー等実施状況

開催日	事 業 名	延べ 参加者数
11月19日	新任主幹研修（男性の育児休業取得推進セミナー）	20 <sup>人</sup>
1月22日	女性のための就職支援セミナー	14
合 計		34

## 2 款 1 項 1 6 目 消費生活センター費

### 消費者行政推進事業

(市民文化課)

決算事項別明細書 111 ページ

予算現額	19,558,000 円		決算額	18,539,977 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,018,023 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	167,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			17,541,092 円	地 方 債	
	増減額			998,885 円	そ の 他	
	増減率	5.69%	一 般 財 源	18,372,977 円		

#### <目的>

狭山市民の消費生活における被害を防ぎ、安全・安心な消費生活を実現します。

#### <内容>

消費者へ新しい情報を提供し、意識啓発を図ります。また、複雑多様化する消費者被害などに適切に対応し、消費者の権利や利益を擁護するため、専門の消費生活相談員による相談事業を推進します。さらに、消費生活に関わる問題などに自主的に取り組む消費者団体の活動を支援します。

#### <実績・成果等>

##### 1 相談業務

コロナ禍でのインターネット関係のトラブルや多重債務等の相談を含め、複雑多様化する相談に資格を持った相談員が対応し、専門的な知見に基づき、被害の未然防止及び救済に努めました。

##### 2 啓発業務

###### 20 歳の手紙

20 歳を迎える方 (1,480 人) に、悪質商法等の被害防止の啓發文書を送付しました。

##### 3 消費者団体連絡会の支援

消費者問題について、調査や研究をしている狭山市消費者団体連絡会に対し、補助金を交付しました。また、消費者団体の会員に啓発資料を配布するなど、消費者の意識啓発や身近な情報の発信を行いました。

##### 4 年度別相談件数の推移

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相談件数	1,076件	1,201件	1,602件	1,449件	1,377件

5 消費生活相談受付内容

令和2年4月1日～令和3年3月31日

内容 種類	受付		内容別相談件数														合計
	受付 件数	うち 苦情 件数	安 全 ・ 衛 生	品 質 ・ 機 能 質	法 規 ・ 基 準	価 格 ・ 料 金	計 量 ・ 量 目	表 示 ・ 広 告	販 売 方 法	契 約 ・ 解 約	接 客 対 応	包 装 ・ 容 器	施 設 ・ 設 備	買 物 相 談	生 活 知 識	そ の 他	
商品一般	153	131	1	2	2	3	0	10	69	83	4	0	1	1	2	8	186
食料品	95	88	5	6	0	4	2	10	59	73	10	0	0	0	0	5	174
住居品	72	62	2	12	1	8	0	6	29	44	7	1	0	1	0	2	113
光熱水品	21	20	0	0	0	3	0	1	6	16	1	0	0	0	0	0	27
被服品	63	61	0	8	0	0	1	3	41	54	4	0	0	0	0	1	112
保健衛生品	107	95	7	10	1	8	0	5	59	82	5	0	1	0	0	1	179
教養娯楽品	98	88	1	9	1	7	0	7	47	67	7	0	0	0	0	3	149
車両・乗物	34	32	1	8	0	4	0	3	11	25	7	0	0	0	0	0	59
土地・建物・設備	64	57	0	10	2	8	0	2	17	41	5	0	1	0	1	5	92
他の商品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商品計	707	634	17	65	7	45	3	47	338	485	50	1	3	2	3	25	1091
クリーニング	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
レンタル・リース・賃借	40	33	2	5	3	10	0	1	3	25	3	0	0	0	0	3	55
工事・建築・加工	64	57	1	8	0	6	0	4	28	46	5	0	0	0	0	3	101
修理・補修	20	18	0	1	0	4	0	1	11	11	0	0	0	1	0	1	30
管理・保管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
役務一般	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
金融・保険サービス	99	89	1	0	1	3	0	1	10	86	5	0	0	1	1	3	112
運輸・通信サービス	242	232	0	7	0	16	0	5	119	192	19	0	0	0	0	2	360
教育サービス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
教養・娯楽サービス	40	40	1	1	0	6	0	1	6	38	6	0	0	0	0	0	59
保健・福祉サービス	56	41	3	8	0	5	0	0	8	35	5	0	0	0	2	5	71
他の役務	57	50	1	0	0	8	0	3	18	43	6	0	1	0	3	3	86
内職・副業・ねずみ講	21	20	0	0	0	0	0	0	18	19	0	0	0	0	0	0	37
他の行政サービス	11	4	0	0	1	0	0	1	1	2	2	0	0	0	1	5	13
役務計	655	589	9	30	5	58	0	17	222	501	52	0	1	2	7	25	929
他の相談	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,377	1,225	26	95	12	103	3	64	560	986	102	1	4	4	10	50	2,020

注) 内容別相談件数は複数分類

## 2 款 1 項 1 7 目 交通対策費

### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 111 ページ

予算現額	21,900,000 円		決算額	21,685,000 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	21,685,000 円
不 用 額	215,000 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			21,685,000 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源		

#### <目的>

市内を運行する交通事業者に対し、継続して運行するための支援金を交付する等、新型コロナウイルス感染症による影響に対応し、公共交通の確保を図ります。

#### <内容>

- ・新たな地域公共交通の導入方針策定支援業務  
地域住民の生活の支援という観点から、交通空白地域等における移動手段を確保するため、新たな地域公共交通の導入を推進します。
- ・コロナに負けない！地域公共交通支援金  
新型コロナウイルス感染症による影響に対応し、市民の暮らしを支える地域公共交通の継続した運行を支援します。

#### <実績・成果等>

- ・新たな地域公共交通の導入方針策定支援業務  
交通空白地域等における移動手段の確保を図るため、狭山市地域公共交通会議における協議を踏まえ、「新たな地域公共交通の導入方針」を策定しました。
- ・コロナに負けない！地域公共交通支援金  
市内を運行する交通事業者に対して支援金を交付しました。

(1 回目)

区 分	事業者数	金 額
路線バス事業者	1 者	3,100,000 円
タクシー事業者	5	1,700,000
合 計	6	4,800,000

(2 回目)

区 分	事業者数	金 額
路線バス事業者	1 者	3,100,000 円
タクシー事業者	4	1,600,000
観光バス事業者	4	7,400,000
合 計	9	12,100,000

## 2 款 1 項 1 7 目 交通対策費

### 市内循環バス運行事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 113 ページ

予算現額	46,916,000 円		決算額	45,873,464 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,042,536 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			46,108,908 円	地 方 債	
	増減額			△235,444 円	そ の 他	189,000 円
	増減率	△0.51%	一 般 財 源	45,684,464 円		

#### <目的>

駅をはじめ、各種施設への移動手段として、市内循環バスを運行し、利便性の向上や交通不便地域の解消を図ります。

#### <内容>

市内循環バスの運行経費と運賃収入の差額を補てんし、継続的かつ安定的な運行を維持します。

#### <実績・成果等>

1 市内循環バス（茶の花号）の継続的かつ効率的な運行により、市民生活における移動手段の確保と利便性の向上を図りました。また、市内循環バス（茶の花号）の利用を促進するため、運行事業者と市内の農産物直売所の協力を得て、茶の花号の利用回数に応じて特典品を進呈する利用促進策を実施しました。

#### 2 市内循環バス（茶の花号）乗車人数の推移

コ ー ス	令 和 2 年 度
通勤通学コース（稲荷山）	13,161 人
通勤通学コース（入曽）	11,376
水 富 コ ー ス	5,883
奥 富 ・ 狭 山 コ ー ス	3,169
堀 兼 コ ー ス	9,272
入 曽 東 コ ー ス	5,291
入 曽 西 コ ー ス	1,920
合 計	50,072

## 2 款 1 項 1 7 目 交通対策費

### 地域公共交通対策事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 113 ページ

予算現額	657,000 円		決算額	281,180 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	375,820 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	2,827,033 円		地 方 債		
	増減額	△2,545,853 円		そ の 他		
	増減率	△90.05%		一 般 財 源	281,180 円	

#### <目的>

市民の日常生活における身近な交通手段である路線バス及び市内循環バス（茶の花号）の継続性と、今後の本市における持続可能な地域公共交通のあり方等を協議し、具体的な対策を実施します。

#### <内容>

市内循環バス（茶の花号）のルートの見直し後の効果等を検証するとともに、効果的な利用促進策を実施します。また、道路運送法に基づいて設置した「狭山市地域公共交通会議」を継続的に開催し、新しい地域公共交通のあり方、その方向性等について協議し、具現化に取り組みます。

#### <実績・成果等>

市内循環バス（茶の花号）の効率的な運行と市民生活における利便性の向上を図るため、また、新たな地域公共交通のあり方とその方向性を検討するため、前年度に引き続き、狭山市地域公共交通会議を開催して協議を行いました。

また、市内循環バス（茶の花号）の利用を促進するため、運行事業者と市内の農産物直売所の協力を得て、茶の花号の利用回数に応じて特典を進呈する利用促進策を実施しました。

## 2款 1項17目 交通対策費

### 狭山市駅西口自転車駐車場管理事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 113 ページ

予算現額	7,875,000 円		決算額	7,648,711 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	226,289 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	6,524,673 円		地 方 債	
	増減額	1,124,038 円		そ の 他	
	増減率	17.23%	一 般 財 源	7,648,711 円	

#### <目的>

24時間利用可能な有料自転車駐車場を運営し、駅周辺の環境整備と自転車利用者の利便性の向上を図ります。

#### <内容>

指定管理者制度を活用し、柔軟なサービスの展開を図りながら、24時間利用可能な有料自転車駐車場を運営します。

#### <実績・成果等>

##### 1 狭山市駅西口第1自転車駐車場利用台数

区 分			令和2年度
自 転 車	一 時 利 用	有料 (回数券含む)	33,742 台
		無 料	2,706
	定 期 利 用		165,345 (453 台×365 日)

##### 2 狭山市駅西口第2自転車駐車場利用台数

区 分			令和2年度
自 転 車	一 時 利 用	有料 (回数券含む)	11,956 台
		無 料	2,528
	定 期 利 用		36,865 (101 台×365 日)

## 2款 1項17目 交通対策費

### 狭山市駅西口駐車場管理事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 113 ページ

予算現額	53,486,000 円		決算額	53,404,631 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	81,369 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	66,170,256 円		地 方 債	
	増減額	△12,765,625 円		そ の 他	13,768,000 円
	増減率	△19.29%	一 般 財 源	39,636,631 円	

#### <目的>

24 時間利用可能な有料駐車場を運営し、駅周辺の環境整備と自動車等利用者の利便性の向上を図ります。

#### <内容>

指定管理者制度を活用し、柔軟なサービスの展開を図りながら、24 時間利用可能な有料駐車場を運営します。

#### <実績・成果等>

狭山市駅西口駐車場利用台数

区 分		令和2年度	
普通自動車	一時利用	有料 (回数券含む)	88,213 台
		無 料	104,802
	定 期 利 用	24,090 (66 台×365 日)	
自動二輪車	一時利用	有料 (回数券含む)	558
		無 料	579
	定 期 利 用	1,460 (4 台×365 日)	
原動機付 自転車	一時利用	有料 (回数券含む)	3,288
		無 料	1,092
	定 期 利 用	2,190 (6 台×365 日)	

## 2 款 1 項 1 7 目 交通対策費

### 交通安全推進事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 115 ページ

予算現額	70,987,000 円		決算額	55,863,251 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	15,123,749 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	62,329,130 円		地方債	
	増減額	△6,465,879 円		その他	
	増減率	△10.37%	一般財源	55,863,251 円	

#### <目的>

市民一人一人の交通安全意識の高揚に努め、市内の交通事故の減少を図ります。

#### <内容>

交通事故の加害者にも被害者にもならないために、警察などの関係機関や交通安全団体、自治会、学校などと連携し、幼児から高齢者までの年齢層に応じた交通安全教室を実施するとともに、交通事故の防止活動を推進します。

#### <実績・成果等>

##### 1 交通安全運動等の実施

- (1) 春の全国交通安全運動
- (2) 夏の交通事故防止運動
- (3) 秋の全国交通安全運動
- (4) 冬の交通事故防止運動
- (5) 各種交通安全教室
- (6) 交通安全街頭指導
- (7) 交通安全啓発活動

##### 2 交通安全教室の実施

交通安全教室の実施状況

区分	幼児	小学生	中学生	一般	高齢者	合計
実施回数	52回	22回	0回	19回	0回	93回
参加人員	2,162人	6,659人	0人	678人	0人	9,499人

##### 3 高齢運転者への安全対策の実施

- (1) 高齢者運転免許証自主返納支援事業  
 対象 70歳以上  
 支援内容 交通系 IC カードへの入金費用 (最大 12,000 円)  
 申請者数 550 名
- (2) 安全運転支援装置設置助成事業  
 対象 65歳以上  
 支援内容 安全運転支援装置設置費用の半額 (最大 25,000 円)  
 申請者数 59 名

## 2款 1項17目 交通対策費

### 交通安全施設整備事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 115 ページ

予算現額	12,538,000円		決算額	12,500,400円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	37,600円			県支出金	
前年度 比 較	決算額	11,862,900円		地方債	
	増減額	637,500円		その他	
	増減率	5.37%	一般財源	12,500,400円	

#### <目的>

交通安全施設の適切な整備により、市内の交通事故の減少を図ります。

#### <内容>

交通の安全を確保するため、事故多発地点や危険個所に、道路反射鏡、道路照明灯、路面標示などの交通安全施設を整備するとともに、老朽化した交通安全施設の維持管理及び更新を実施します。

#### <実績・成果等>

##### 1 交通安全施設の整備

交通安全施設の整備状況

道路反射鏡	区画線（総延長）	すべり止め舗装（総面積）
16基	L=6,654.2m	A=47.5㎡

本年度末で道路照明灯1,633基、道路反射鏡2,412基、道路標識2,106基

##### 2 交通事故の発生状況

###### (1) 月別交通事故発生状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故件数(件)	25	11	24	30	35	32	41	38	38	25	31	28	358
死者数(人)	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
負傷者数(人)	32	13	31	35	40	35	53	44	43	27	34	32	419

※高速道路上における事故を除きます。

###### (2) 状態別交通事故発生状況

区分	歩行中	自転車	二輪車	自動車	その他 (道路外等)	合計
死者数(人)	0	0	1	2	0	3
負傷者数(人)	67	91	49	211	0	418

※高速道路上における事故を除きます。

## 2款 1項18目 防犯費

### 防犯推進事業

(交通防犯課)

決算事項別明細書 115 ページ

予算現額	60,561,000 円		決算額	56,190,952 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	4,370,048 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			53,250,359 円	地方債	
	増減額			2,940,593 円	その他	
	増減率	5.52%	一般財源	56,190,952 円		

#### <目的>

市民の防犯意識の高揚と防犯設備の充実により、市内での犯罪発生の減少を図ります。

#### <内容>

警察などの関係機関や防犯関係団体、自治会などと連携した防犯活動や啓発活動を実施するとともに、公式ホームページや SNS 等を活用した防犯に関する情報提供を行います。

あわせて、防犯灯の適正な維持管理を実施します。

#### <実績・成果等>

##### 1 地域防犯活動の推進

- ・ 自主防犯組織（自治会・地域防犯ネットワーク）への支援  
防犯ベスト、帽子、誘導灯、のぼり旗及びポールの支給
- ・ 自主防犯パトロール等への支援  
普通傷害保険の加入、職員によるパトロールへの同行
- ・ 青色回転灯装着車両による防犯パトロールの実施  
毎週月・水・金曜日の下校時刻に合わせてパトロールを実施

##### 2 啓発活動の推進

- ・ 自治会と連携し作成した振り込め詐欺防止シールを配付
- ・ 振り込め詐欺に関する注意喚起のチラシを広報と同時に全戸配付

##### 3 犯罪情報等の提供

- ・ 公式ホームページ、各種 SNS、防災行政無線による振り込め詐欺等の注意喚起
- ・ 振り込め詐欺の市内被害状況について月例でチラシを作成し自治会へ配布

##### 4 講演・講習会等

- ・ 2月15日から19日 犯罪被害者やその家族等がおかれる現実や必要な支援について、多くの方の考えるきっかけとなるよう、市内で活動する団体と連携して、パネル展を実施。（市役所エントランスホール）